

平塚市青少年問題協議会令和5年度第2回全体会議 会議録

日 時 令和6年3月21日(木)
午後1時30分から2時40分
場 所 青少年会館2階 集会室
出席者 委員15人、委員代理出席2人
幹事13人、幹事代理出席2人
(うち1人、委員と兼務)
傍聴者 なし

1 開会

【事務局】

2 挨拶

【市長】

3 議事

【事務局】

- ・過半数の委員出席による会議成立の報告
- ・会議資料の確認
- ・議長は岩崎副会長

(1) 報告事項

ア 神奈川県青少年育成活動推進者表彰及び平塚市青少年健全育成功労者表彰について (資料P3)

【事務局】

- ・資料P3に基づき、被表彰者等を報告。

イ 第36回少年の主張作文コンクールコンクールについて (資料P4)

【事務局】

- ・資料P4に基づき、受賞者等を報告。

ウ 「よい青少年をたたえる運動」について (資料P5～6)

【事務局】

- ・資料P5～6に基づき、褒賞受賞者を報告。

エ 令和5年度専門部会について (資料P7～43)

- ・各部部长より報告

【青少年育成部部长】

- ・資料P7～14に基づき報告した。

【青少年指導相談副部部长】

- ・資料P15～37に基づき報告した。

【青少年育成施設部部长】

- ・資料P38～43に基づき報告した。

オ 令和6年度青少年施策について (資料P44～55)

- ・資料に基づき、各担当課が令和6年度青少年育成事業を説明した。(令和5年度事業内容と変更のないものについては、資料により確認とした。)

青少年課 平塚警察署 文化・交流課 人権・男女共同参画課
保育課 こども家庭課 教育指導課 子ども教育相談センター
社会教育課 中央公民館 スポーツ課 中央図書館 博物館
美術館

意見等

【A委員】

- ・子ども大会の参加率について、コロナ前(2019年)は44.7%、2022年は16.7%、2023年は33.4%という変動がある。青少年事業においてはどのような参加率の変動があるか？コロナ前と比べて増えているか？

【青少年課長】

- ・令和6年1月8日で開催された令和6年平塚市はたちのつどいで、久々に参加率が70%を超える参加があった。
- ・小中学生を対象とした事業のびわっこクラブで、コロナで中止した後、再開した時から定員32名を上回る応募があった。

【中央公民館】

- ・地区レク、フェスティバル、公民館まつりなどがあるが、コロナ前に比較すると、そこまでは戻っていない状況。2022度については、まだ人数制限などをかけていたこともあり、参加人数は少ない。ただ、2023年度については5月にコロナが5類になったことで、参加人数などに制限がなくなったが、参加者の中には、まだ参加に遠慮がちな方もいらっしゃることから、一部ではコロナ前を超えた参加人数の地区もあるが、ほとんどの地区でコロナ前の7~8割程度の参加人数となっている。

【文化・交流課長】

- ・小学校5~6年生に募集をかけている友好都市との交流では、コロナ前は少し定員を超える程度の応募であったが、今年度は全て定員の倍以上の応募があった。楽しかったため他の事業にも参加したいと、1年間で2事業に応募される方もいた。募集のしかたなどは変更していないが、今年度はとても盛況であった。

【B委員】

- ・平塚警察の少年柔道の中止はコロナの影響か？

【平塚警察署】

- ・一概には言えないが、剣道は平塚剣道協会の傘下にいらっしゃる方たち、柔道は平塚柔道協会の傘下にいない方たちがやっていて卒業した。新しく柔道やりたい方は、平塚柔道協会に入る方が多い。警察で柔道をする方は減っているけれど、平塚柔道協会に入る方は一定人数いるので、柔道をやりたい子が減っているわけではなく、やる場所が違うという認識。

【C委員】

- ・保育課の保育実習について、毎年どれくらいの実習生が市内の保育士になっているのか？
- ・「医療と連携した学校教育相談」について、年間4校のみのなのか？

【保育課長】

・ 昨年の参加人数については36名だった。募集のしかたは保育課に申し込んでいただき、園に割り振っており、26園で実施。高校生なので、保育士の養成校に進むのか、大学に進むのかは把握しておらず、どれくらいの人数が市内の保育士に就職していただいているのかは把握できていない。

【子ども教育相談センター所長】

・ 7月に2枠、10月に2枠の4校で考えている。令和5年度は相談支援チーム派遣事業の中でドクターから助言をいただいている。来年度実施してみても、学校の意見なども聞きながら検討していきたい。

(2) 協議事項

ア 平塚市青少年国際交流事業実行委員の選出及び承認について

(資料P56～59)

【事務局】

・ 依頼に基づき、実行委員を選出したい。

【議長】

・ 全体協議ののち、事務局案の提示を求める。

【事務局】

・ 「井出隆夫委員」、「小野みつ子委員」を提案したい。

【議長】

・ 全体協議ののち、承認する。

4 その他

【事務局】

・ 令和6年度は委員の改選期にあたる。事務局から5月頃に推薦依頼の文書を送付するためご推薦をお願いしたい。

5 閉会

【事務局】

以上